

Porsche Teens

100年前、伝説の“サーシャ”がタルガ・フロリオでダブル優勝を飾った。
画：トビアス・パールケ

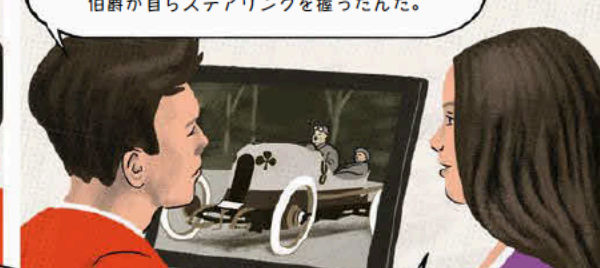


ソニヤ、プレゼンのアイデアある？
テーマは“開拓者精神”なんだけど、
結構たいへんだよ。

これ、いいんじゃない？
サーシャと同じ名前のレーシングカー
があるよ。

本当だ！“SASCHA”って書いてある。
立ってる人の背が高いのかな？
車が小さいのかな？

「実際にレースで走った」って書いてある。
伯爵が自らステアリングを握ったんだ。



両方じゃない？これ、フェルディナンド・ポルシェ
が設計した最初の小型車よ。当時のオーストリア、
アウストロ・ダイムラー社のために設計したらしい。
で、出資したのがこの大きい人、アレクサンダー・
“サーシャ”・コロブラト伯爵。

シチリア島で開催されたタルガ・フロリオ耐久レースにアウストロ・ダイムラーのマシンが初参戦したのは1922年のこと。今からちょうど100年前！



第一次世界大戦（1914年から1918年まで）の後、自動車が急速に普及して、フェリー・ポルシェは父親のフェルディナンドと一緒にレースに顔を出していたそうだよ。



このタルガ・フロリオ、凄いいレースだったみたいね。
6,000以上ものカーブがある砂利道のコース。
一周108kmを4周したそうよ。

アウストロ・ダイムラーの社員だったフェルディナンド・ポルシェは、とにかく自分の設計したマシンをレースで試したかったんだ。ポルシェって、今もその姿勢は変わらないよね。

コミック

プロトタイプ制作期間はわずか8カ月。
ギリギリまで完成してなくて、塗装はシチリア
向かう列車の中でしたそうよ。

サーシャに勝ち目があるなんて誰も思っていなかった
みたいだ。1.1リットルの排気量で最高出力は35馬力と、
性能面で特出しているわけではなかった。でも、アルミニ
ウム製のエンジンとボディを採用して軽量化を徹底したお
かげで、最高速度150km/hを出したんだって。



赤いボディカラーは金持ちの伯爵が選んだらしい。
イタリア車のレースカーだったらファン
もつくのではないかって。目印はクラブ、スベード、
ハート、ダイヤと、トランプのマーク。



結果は、市販車クラスでダブル優勝！
ただ、伯爵のサーシャは途中で棄権しちゃったとか。
42台中、完走したのは26台だけ。

アルフレート・ノイバウアーは、
大型クラスで4倍の出力を誇るレーシ
ングカーとも競い合ったって書いてある。
その後、メルセデス・ベンツのレーシ
ング責任者になって有名になった人だよ。
彼は7時間50分のタイムで、
総合5位に入賞。



でも不思議よね、
1922年だけでも53戦
22勝の大活躍だったのに、
一度も量産されなかつ
たんですって。

アウストロ・
ダイムラーの役員達は、
小型車は絶対売れないって
決めつけたみたいだ。



そんな経緯や他の事情もあって、
フェルディナンド・ポルシェは1923年
にシュトゥットガルトのダイムラーに移
った後、1931年には自分の設計事務所
を設立することになる。それが今日
のポルシェの前身ってわけね。

早くみんなの前でこのすごい話を紹介したいな。

自分が見つけた振りしないでね。このテーマ
は元々私が見つけたんだから。

